



★ インタビュー

この人に聞きたい！

第1回 水戸支部 加藤 正樹 会員

聞き手・文：梶山 伸治 通信員



今回は、行政書士として活動する傍ら、本会理事及び学童保育の経営など、多方面にわたる活躍をされている行政書士事務所「ぜんざい」代表である加藤正樹先生の事務所を訪問させて頂きました。

水戸市の繁華街から少し離れた閑静な通りに面した事務所は、非常に整然として掃除も行き届いており、先生の几帳面な性格が伺えました。また、事務所内に散在するお子さんのお写真などから、子煩悩で親しみやすさも感じられました。

梶山「早速ですが、行政書士という仕事を志したきっかけは何ですか？ご登録はいつ頃ですか？」

加藤「もともとブラックミュージックが好きで、語学留学の名目でニューヨークに住んでいた時期があるんですよ。その際、ビザの申請などで苦労した経験から、来日される外国の方々を手伝いたいと思い、行政書士を志しました。ただ法学部の出身ではないので、勉強はかなり大変でしたね。登録してからは、7年目ですね。」

梶山「なるほど。現在はどんな業務を主に取り扱いいらっしゃるのですか？」

加藤「建設業や農地転用関係が多いですね。また当初の希望通り、入管関係の業務も扱っています。ちなみに、行政書士として最初の業務は、知人の伝手で引き受けた建設業の更新申請でした。以前に担当していた行政書士の方が廃業したとかの理由で、2年分の決算変更届が未提出だったため、かなり苦労しましたね…。」

梶山「デビュー戦がそれでは、相当ハードルが高かったですね！(笑)私のデビュー戦は車庫証明でしたけど、最初の業務ってすごく緊張しませんか？私は水戸警察署で何度も書き直した記憶が鮮明に残っています…(笑)」

加藤「私もすごく緊張しました！全く分からない業務だったので、何度も土木事務所の担当者に質問し、迷惑をかけたことを覚えています…(笑)でも、皆さんもこれにしっかり乗り越えてきているわけですよね！」

梶山「そうですね。私は、登録当初の方が妙な気負いがあって、お客さんの前で新米だと気取られないように肩肘を張りましたが、最近は開き直って知らないことは平然と知らないと言えるようになりましたね！(笑)」

加藤「私もそうですね。この業界、様々な業務がありますから、とりあえず依頼された目の前の業務に懸命に取り組むことを心掛けて、何とかここまでやってこられました。」

梶山「なるほど。私もあらためて心掛けるようにします。ところで、加藤先生は行政書士業務の傍ら、学童保育を経営されていたらっしゃると伺いましたが、現況はどんな感じですか？」

加藤「父がひたちなか及び那珂で15～16年ほど経営していたのですが、4～5年ほど前に世代交代で引き継いだのを機に法人化しました。」

梶山「すごいですね！行政書士との兼業って大変じゃないですか？」

加藤「午前中は行政書士、午後から夜の8時までは学童の仕事という感じで活動しているのですが、最初の頃は頭の切り換えが大変でしたね。」

梶山「先生は、他にも本会の理事としても活躍されているようですが、スケジュールの管理が大変ではないですか？」

加藤「何事も前向きにやってみようというのが私のモットーなので、とりあえずお声がけ戴いたことは何とか頑張ってみようと思っています。まあ、その結果あとで何かと困ることもあるわけですけど…(笑)」

梶山「まあ、何ごとともやってみないと分からないですからね！(笑)今後の事業展開などはどのようにお考えでいらっしゃいますか？」

加藤「4月までを目標に、ひたちなかにもう1つ事業所を展開したいと思っています。少子化が進む中、時代のニーズに合わせた体制づくりを意識しながら、子ども達の未来のためによりよい環境を模索していきたいですね！」

梶山「行政書士としてだけではなく、経営者としてもしっかりしたお考えをもった先生のご活躍は、行政書士という資格を活かす上で、開業したての新人、またこれから開業される方々にとっても大きな指標になるのではないかと思います。本日はお忙しい中、貴重なお時間を頂戴して誠に有難うございました。」

加藤「いえいえ、かえって有難うございました。」

非才の身の駄文ではとてもお伝えしきれませんが、子ども好きと語る加藤先生からは、行政書士としての誇りとともに、経営者としての強い意気込みが端々に感じられました。これからもご健康に留意された上で、是非とも子ども達の未来への貢献も続けてください！！
蛇足ながら、今回の事務所訪問に際し、数年来の疑問であった事務所名「ぜんざい」の由来を伺うのを忘れてしまいました…。加藤先生、またの機会に是非とも教えてください！(笑)